

平成26年 6月27日

## 全国で初導入！

## 「バス停上屋の維持管理PPP」

～道路管理者がバス停上屋を整備、民間が広告収入で維持管理～

- 国土交通省は、安全・安心にバスが利用できる'街の交通環境整備'のために、バス停の上屋やベンチ等の設置を官民連携(PPP)で進めています。これまでは、主に「市街地中心部」において、民間事業者がバス停上屋等を一括して整備・管理する取組みが進められてきました。
- 今後は更に、「地方部」の病院や学校周辺などのバス停においても、児童や高齢者、障害者等の方が安全・安心にバス利用が出来るよう上屋等の設置を拡充していく必要があります。このため、公的主体である道路管理者が上屋を整備し、民間事業者が広告収入で上屋を維持管理する、新たなPPPのスキームを導入することとしました。
- この新たな取組みについて、福岡国道事務所が管理する国道202号福岡外環状道路で、全国で初めて試行導入します。

### 【試行箇所】

国道202号福岡外環状道路 上り線 野多目小学校前バス停（福岡市南区）

### 【新たなPPPの運用時期】

平成26年夏頃予定

### 《問合せ先》

国土交通省 九州地方整備局 福岡国道事務所

電話 : 092-681-4731 (代表)

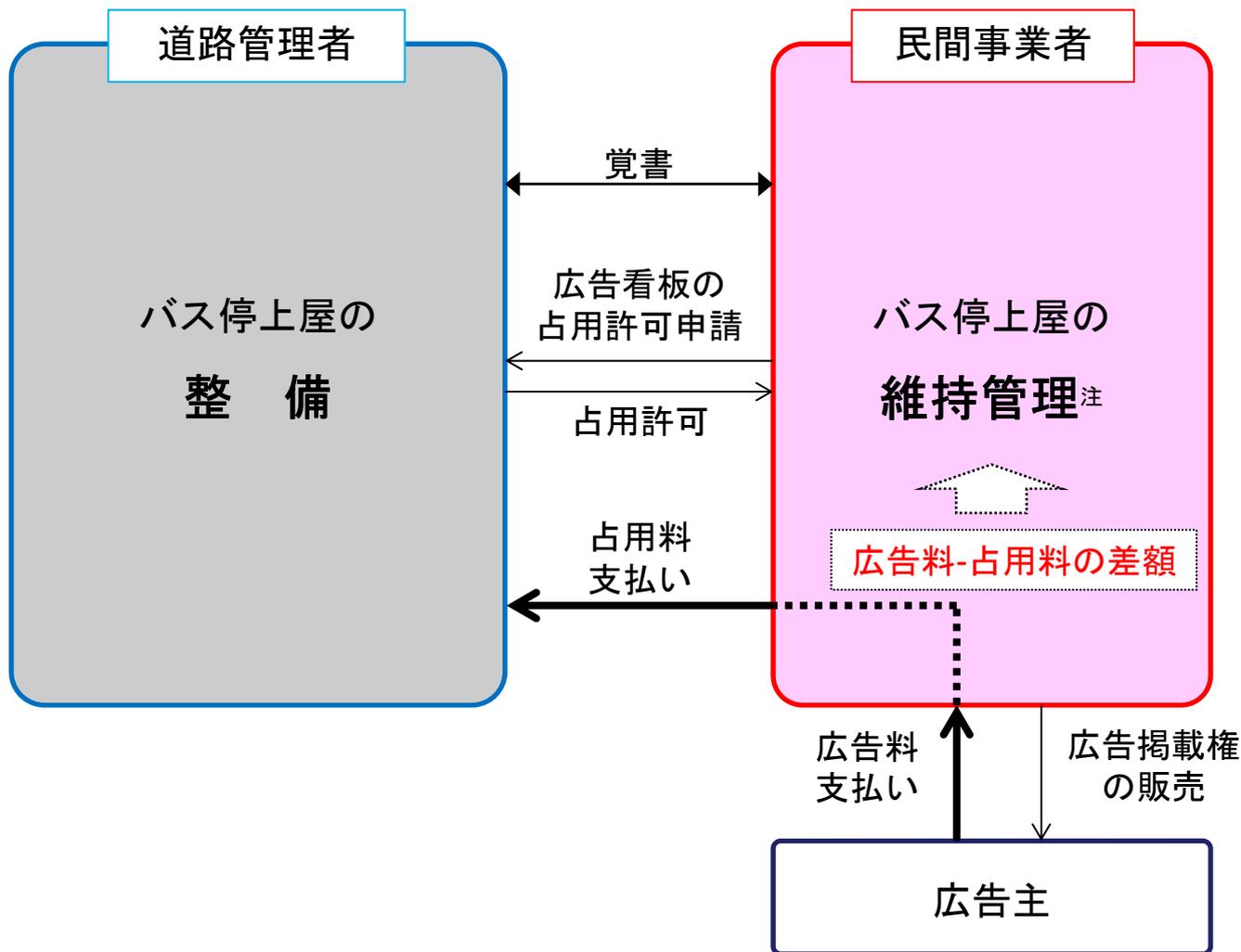
技術副所長 辻 芳樹 (内線 205)



福岡国道

国土交通省九州地方整備局  
福岡国道事務所

# 「バス停上屋の維持管理PPP」のスキーム



注：今回試行箇所では、バス停ベンチの整備・管理も民間事業者にて実施できるものとする。

	整備	維持管理
新規	道路管理者	民間
	地方部の病院や学校周辺等	
これまで	民間	民間
	主に市街地中心部	

# バス停上屋の維持管理PPPの試行箇所及び整備イメージ

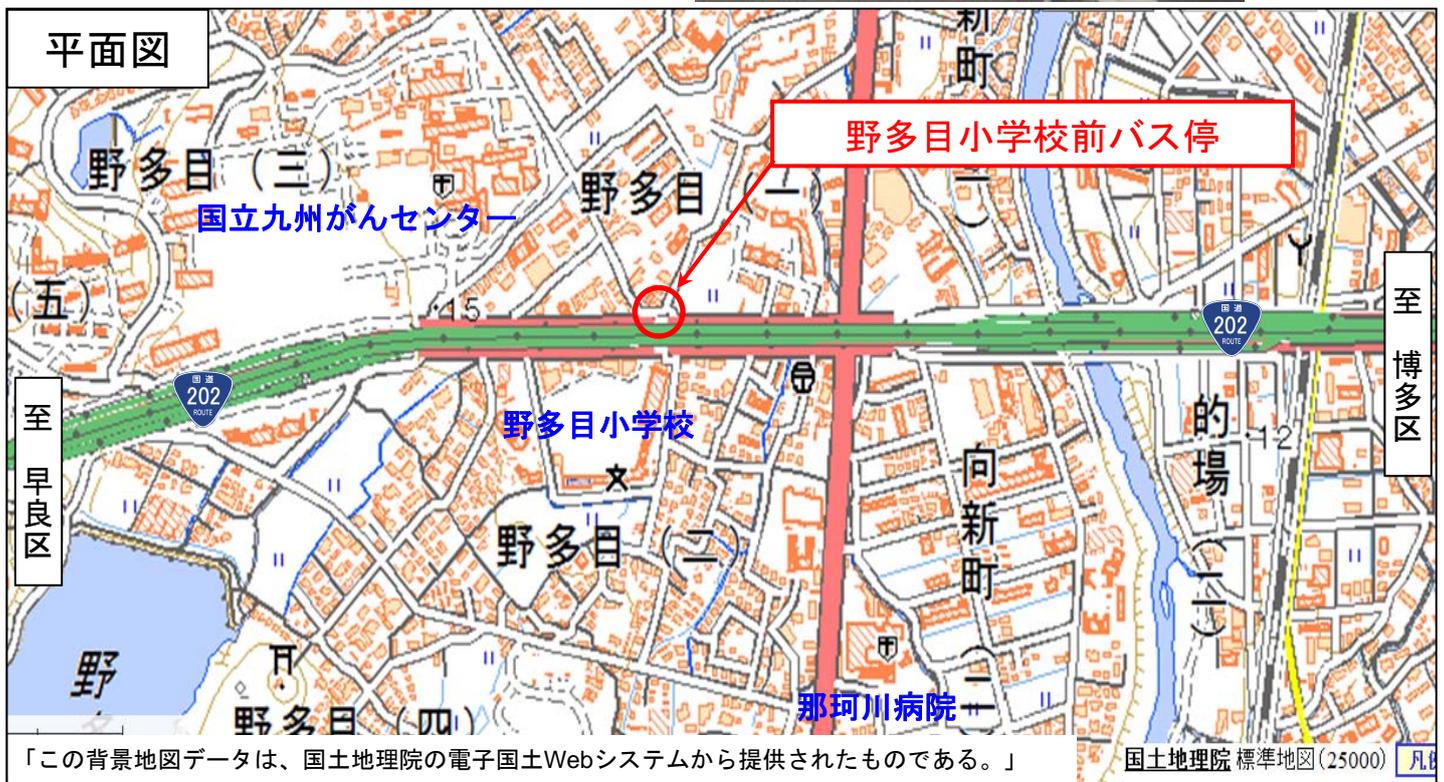
位置図



現地状況写真



平面図



バス停上屋の広告掲示イメージ

※上屋本体はH26.3に整備済

